

呉工業高等専門学校		開講年度	平成28年度 (2016年度)		授業科目	コミュニケーション英語II	
科目基礎情報							
科目番号	0014			科目区分	一般 / 選択必修		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	履修単位: 3		
開設学科	環境都市工学科			対象学年	2		
開設期	通年			週時間数	3		
教科書/教材	伊東治己ほか『New ONE WORLD: Communication II』(教育出版) および 『英単語 Value 1400』(数研出版)						
担当教員	大森 誠						
到達目標							
1.教科書および副教材『英単語 Value 1400』の新出単語や表現を使えるようになる。 2.教科書本文の内容を理解し、自分の意見を言えるようになる。 3.日本語と英語の根本的な発音要領の差を認識できるようになる。 4.英語特有の発音要領をより自然に再現できるようになる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	教科書および副教材『英単語 Value 1400』の新出単語や表現を適切に使うことができる			教科書および副教材『英単語 Value 1400』の新出単語や表現を使うことができる		教科書および副教材『英単語 Value 1400』の新出単語や表現を使うことができない	
評価項目2	教科書本文の内容を理解し、自分の意見を言うことが適切にできる			教科書本文の内容を理解し、自分の意見を言うことができる		教科書本文の内容を理解し、自分の意見を言うことができない	
評価項目3	英語特有の発音要領をより自然に再現できる			英語特有の発音要領を再現できる		英語特有の発音要領を再現できない	
学科の到達目標項目との関係							
本科 (HA)							
教育方法等							
概要	テキストの音読と精読をととして、読解力の育成をはかるとともに、語彙やブンボウの知識を身につけ、表現力を向上させる。						
授業の進め方・方法	ホームルームでの演習 (週3時間)						
注意点	予習・復習を徹底すること。授業では、大きな声で発話するよう心がけよう。自分の考えを皆の前で表現できるよう、積極的な学習姿勢が求められる。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	概要説明 Warm-up		■ホームルームでの言語演習 1. 英語の聴き取り・発音の練習と、英文の読解及び、より自然な日本語になるよう和訳を工夫する。 2. 二週間に一度のペースで、単語の試験を実施する。		
		2週	Lesson 1-1				
		3週	Lesson 1-2				
		4週	Lesson 1-3				
		5週	Lesson 1-review 他				
		6週	Lesson 2-1				
		7週	中間試験				
		8週	答案返却・解答説明				
	2ndQ	9週	Lesson 2-2				
		10週	Lesson 2-3				
		11週	Lesson 2-review 他				
		12週	Lesson 3-1				
		13週	Lesson 3-2				
		14週	Lesson 3-3				
		15週	期末試験				
		16週	答案返却・解答説明				
後期	3rdQ	1週	Lesson 3-review 他		■ホームルームでの言語演習 1. 英語の聴き取り・発音の練習と、英文の読解及び、より自然な日本語になるよう和訳を工夫する。 2. 二週間に一度のペースで、単語の試験を実施する。		
		2週	Lesson 4-1				
		3週	Lesson 4-2				
		4週	Lesson 4-3				
		5週	Lesson 4-review 他				
		6週	Lesson 5-1				
		7週	Lesson 5-2				
		8週	中間試験				
	4thQ	9週	答案返却・解答説明				
		10週	Lesson 5-3				

		11週	Lesson 5-review 他	
		12週	Lesson 7-1	
		13週	Lesson 7-2	
		14週	Lesson 7-3	
		15週	学年末試験	
		16週	答案返却・解答説明	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	中学で既習の1200語程度の語彙を定着させるとともに、2600語程度の語彙を新たに習得する。	2	前1,後1
				自分の専門に関する基本的な語彙を習得する。	2	前1,後1
				中学校で既習の文法事項や構文を定着させる。	2	前1,後1
				高等学校学習指導要領に示されているレベルの文法事項や構文を習得する。	2	前1,後1

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	60	0	0	0	40	0	100
基礎的能力	60	0	0	0	40	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0